

ライン・プロポーションナー

FP - 65.400

取り扱い説明書

項目

1. 概要
2. 特長
3. 仕様
4. 構造及び機能
5. 使用方法
6. 注意事項

1. 概要

ライン・プロポーションナーは送水ポンプからノズルまでのラインの中間に接続して、泡消火原液を吸引させるプロポーションナーです。

今、注目の木造建物や林野火災に最適な**クラスA泡**及び従来の**クラスB泡**の何れにも適用出来る泡混合システムです。

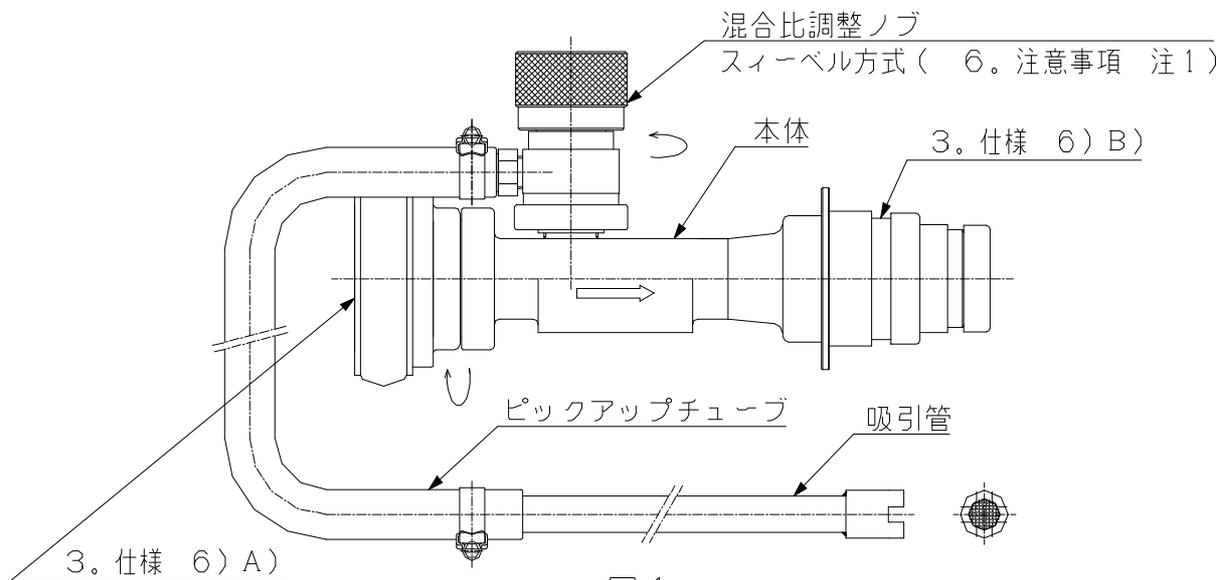
2. 特長

- 1) 取扱いが大変簡単で便利です。
- 2) スィーベル機能を備えたピックアップチューブ付です。
- 3) 0、0.25、0.5、1、3%の混合比が正確に選べます。
- 4) 材質はアルミニウム合金（耐食表面処理）で軽量、コンパクトです。
- 5) ホース接続は呼び 50/65 兼用のマルチコネクト方式です。

3. 仕様

- 1) 名称：ライン・プロポーションナー（エダクター方式）
- 2) 型式：FP - 65.400
- 3) 設定混合比：OFF、0.25、0.5、1、3%
- 4) 実質流量：440L/min.
- 5) 寸法 / 重量：L = 330 mm / W = 3.5 kg
- 6) 接続口：A) 入口 65 差込式受け金具、65 消防ネジメス
* 何れもスィーベル方式
B) 出口 マルチコネクト差し金具（呼び 50/65 兼用）、65 消防ネジオス
- 7) 適用ノズル：ダブルコンノズル（流量設定レンジ 19 mm）
デュアルマチックノズル（流量選択ノブのエマージェンシーモード）

4. 構造及び機能



ライン・プロポーションナーは図1に示すように、本体、接手、混合比調整ノブ、吸引管（ピックアップチューブ）より構成されます。送水の際にエダクターの作用により泡消火原液を吸引させ、設定した混合比の泡水溶液をノズルに送液するものです。

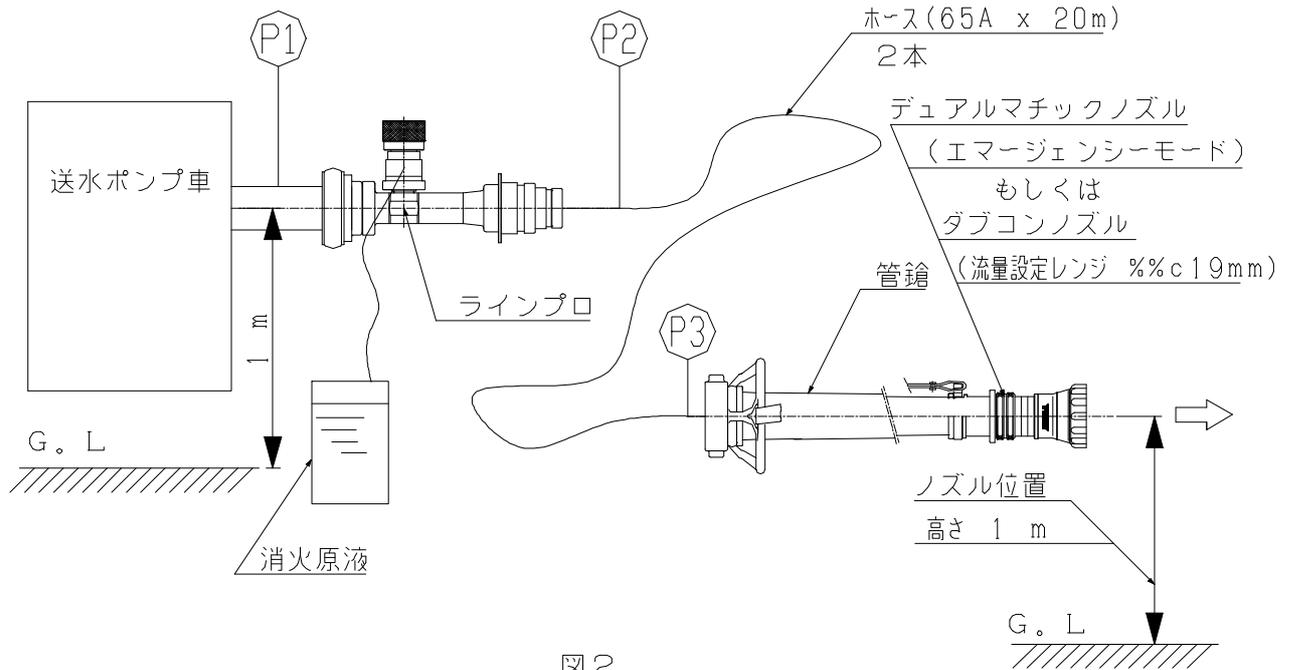


図2

性能表

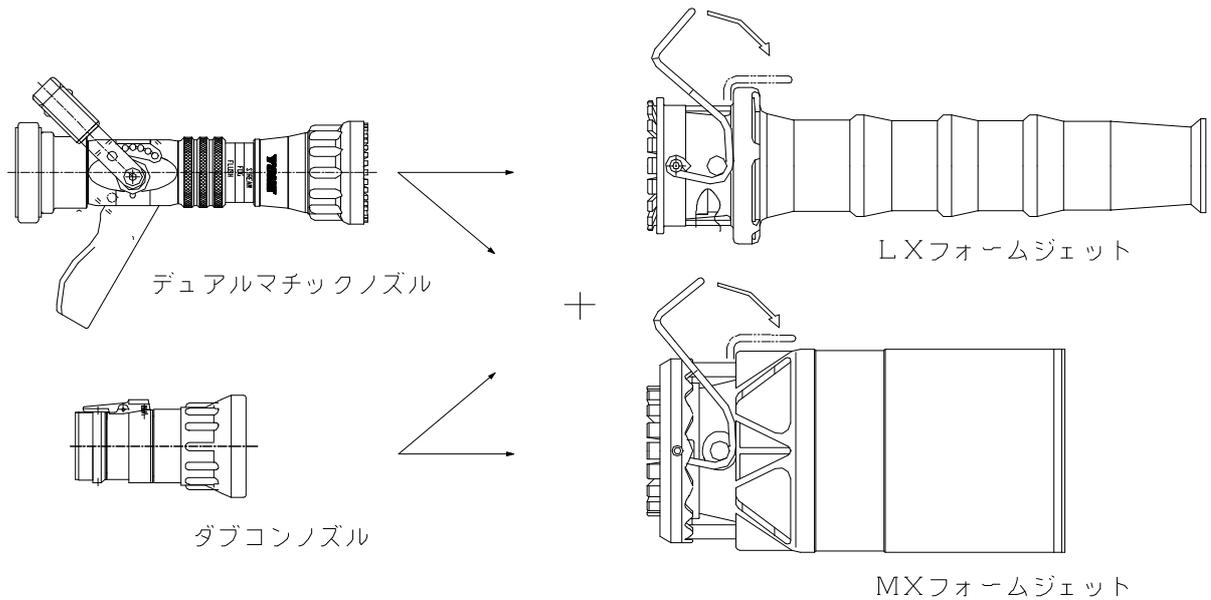
ノズル吐出量 (L/min.)	ノズル元圧 P3 (MPa)	ラインプロポーショナー			ラインプロ～ノズル 圧力損失 (P2-P3) ΔP (MPa)
		一次側圧力 P1 (MPa)	二次側圧力 P2 (MPa)	差圧 (P1-P2) ΔP (MPa)	
440	0.35	0.7	0.37	0.33	0.02

上記性能表は、ポンプ元圧 0.7MPa、ノズル位置高さ 1m、消防用ホース (65A x 20m) 2本、ダブルコンノズル (流量設定レンジ 19mm) もしくはデュアルマチックノズル (エマージェンシーモード) を使用したときの性能です。

尚、このライン・プロポーショナーは、ラインプロからノズル間の圧力損失が最大約 0.15MPa まで使用できます。(クラスA泡フオスチェックWD - 881 : 0.5%混合時、ノズル位置高さ 1m、消防ホース (65A x 20m) 8本接続で最大使用可能)

5. 使用方法

- 1) 吐水口もしくは送水ホースの中間に接続してご使用下さい。
- 2) ライン・プロポーショナー入口圧力は 0.7 MPa でご使用下さい。
- 3) 推奨ノズルとして、ダブルコンノズル (19mm) もしくはデュアルマチックノズル (エマージェンシーモードで弁ハンドル全開位置) で最適な混合性能が得られます。
- 4) 十分な発泡を必要とする場合は、上記のノズルに泡用アタッチメントとして **LXフォームジェット (低発泡用)** **MXフォームジェット (高発泡用)** をご使用下さい。



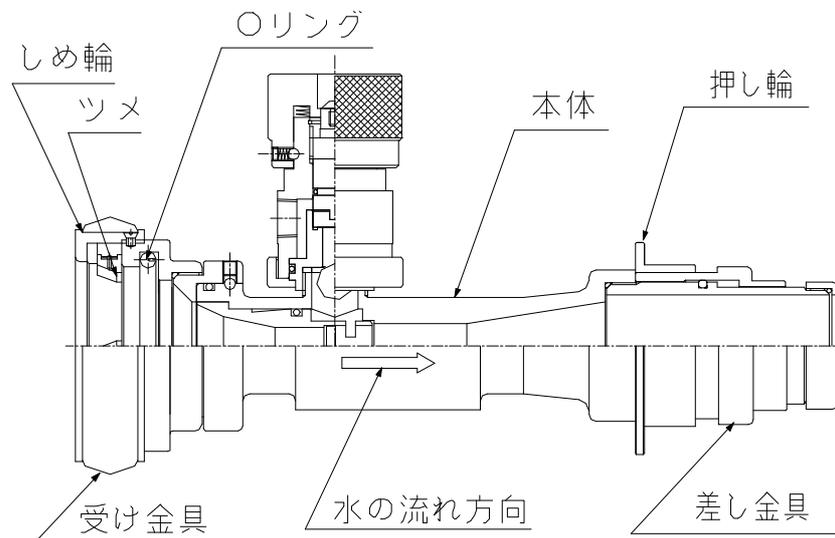
最大ホース延長

ノズル位置高さ	1 m	2 m	3 m	4 m	5 m	6 m
ホース(65A×20m)本数	8本以下	8本以下	7本以下	6本以下	6本以下	5本以下
ホース(50A×20m)本数	3本以下	2本以下	2本以下	2本以下	1本以下	1本以下

* クラスA泡フォスチェックWD-881使用時 混合比0.5% 流量440l/min.の場合

6. 注意事項

- 1) ライン・プロポーションャーは、ノズル吐出量やプロポーションャー吐出側のホース長さ、ノズル位置高さ等による圧力変化に非常に敏感ですので、取扱いはご確認の上使用願います。
- 2) 保守、点検及び使用上の注意



- 注1 ピックアップチューブのスィーベル機能使用時は、混合比調整ノブのOFF (0%) 以外を選択して下さい。
- 注2 水の流れ方向に充分ご注意の上、取り付けて下さい。
- 注3 使用後は清水を吸引 (混合比調整ノブを回して) 洗浄し、又、付着した土砂等を洗い流して下さい。
- 注4 消火原液が吸引出来ない場合
 1. 使用ノズルが適切かどうかの確認 (440L/min. at 0.35 MPa)
 2. 使用圧力が適切かどうかの確認 (入口圧力約 0.7 MPa)
 3. 消火用水に油脂又は著しい汚れが混じっていないかどうかの確認

- 4．混合比調整ノブの確認（OFF位置以外）
 - 5．原液吸液ラインのチェック
（ストレーナーの目詰まり、ホース接続部の緩みによるエアの混入等）
 - 6．最大ホース延長、ノズル位置高さのチェック
- 注5 寒冷時には、消火原液の粘度が高まり、実際の混合比が低くなるため、混合比調節ノブの設定を上げて下さい。

差込式結合金具は差し金具と受け金具が完全に結合したかご確認下さい。

差込式結合金具は使用中には押し輪に絶対手を触れないで下さい。

差込式結合金具に動きの悪いツメがあるときや、締め輪と受け金具に緩みのあるもの、差し金具との結合が不具合のものは使用しないで下さい。

本体と受け金具や差し金具に緩みのあるものは使用しないで下さい。

パッキン、Oリングが取り付けられているか、劣化していないか点検して下さい。劣化しているものを使用しますと漏水の原因になります。

* 万一、不適切なご使用による事故等が発生しましても責任を負いかねます。